



祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定！ 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.30

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。

詳しくはこちらから



賛同企業

募集中!!

【申し込み・問い合わせ】

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp

「SDGs」。この言葉は耳にしたことはありましたが、自分には関係のない言葉だと思っていました。今回、みやぎSDGs Farmに参加し、この考え方は一変しました。



当社では、仙台荒浜でのビーチクリーン活動・地方公共団体への寄付を通じて震災孤児の支援・仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」の一環としての植樹会への参加・子ども食堂への活動資金の寄附や弁当容器の寄贈などさまざまな活動に参加しています。この活動は「過性のものではなく継続していくことが重要です」。

そのためには企業活動も重要であり、会社が利益を確保して始めて継続することが



今回のSDGs塾に参加して強く感じたことがあります。それはSDGsを意識しつづ、循環型の社会を作り出せるということ。

私が参加したイベントは子供たちが考えた環境対策アイデアを表現に近づけようとするものでした。子供たちのユニークなアイデアを現実的に考えると、コストなどの問題が生じます。そこで私たちの班では観光業と組み合わせることによって利益を生み、地域の活性化と循環型の社会の形成にたどり着くことで現実味を帯びました。

今までSDGsといえば、無償でコップのような勝手な印象を持っていましたが、今回の経験でガラッと変化しました。



当社の顔は、生コンクリートを運ぶ「コンクリートミキサー車」です。私の息子は、はたらくるまでが大好きで、ミキサー車を見かけると大声を出して教えてくれます。

そんな息子ですが、もう一つ好きなものがあります。それは、地域のイベント等で活躍している「ご当地キャラクター」です。私は、亘理町に住んでいるのですが、亘理町には「わたりん」というキャラクターがいます。息子は「わたりん」を発見すると、嬉しそうに写真を撮りに行きます。

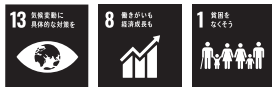
その風景を見て、私はふと思いつきました。ミキサー車とご当地キャラクターの掛け合わせで、子供がとびっきり喜ぶミキサー車になるのではないかと。そこから、ミキ

継続は力なり

高速 高橋篤さん

出来るのではないのでしょうか。経理部に所属している自分が自社の利益貢献を考えたとき、資源を大切にし、無駄をなくそうと思いました。マイボトルの持参、資料をプリントせず画面にて確認、失敗したコピー用紙の裏面をメモ用紙にするなど、その削減効果は小さなものかもしれませんが、それでも塵も積もれば山となります。

何も行動しないより、行動することには意味があります。その行動も一人よりみんなで行うことでより大きな力となります。皆さんも身近なところからSDGsを始めてみませんか？



SDGsで循環する社会

宮城大学フードサービス論研究室 高屋奏太さん

どこの会社や企業が最終的にお金を出すかにおいては考えどころであります。SDGsを意識することで巡り巡って地域社会や会社の成長にもつながってくるのではないかと感じました。

私が就職を決めたアパレルの会社でもすでに沢山のSDGsを踏まえた取り組みが行われています。障害によって通常のサイズの服が合わない人に向けた商品開発などお客さまに実際に買ってもらうことでその利益からまた新たな服が生まれ社会が回っています。

私も入社後にはSDGsを考えながら自分の好きな服をたくさんの人に届け、どんな人にも服を楽しんでもらいたいと考えています。



はたらくるまで地域活性を！

タイハク 南條世紀さん

サー車を活用したさまざまな取り組みを始めた。2024年1月に仙台89ERSのラッピング車、3月にはベガルタ仙台のラッピング車を手がけました。サポーターに喜ばれ、ミキサー車の注目度も上がり、SNSで拡散されるようになりました。現在は、各自治体とミキサー車を活用したPRを協議しております。

自治体と連携し、ミキサー車を活用した観光PRを行うことで、当社が関わっている自治体の観光誘致を狙う。そのような取り組みを行うことで、働く人がより誇れるような仕事になることを目指していきます。



17

11

8